

## (仮称) 神戸食文化創生会議について

### 1. 経緯

食都神戸 2020 事業をすすめるにあたり、平成 28 年 11 月、食と農に関するメンバーや食ビジネスをサポートする関係機関により食都神戸推進会議を設立した。

2020 年に節目の年を迎え、新たなスタートをきることから、食都神戸推進会議を他の組織と再編し、より長期的な視野で実行力のある組織として「(仮称) 神戸食文化創生会議」の設立を予定している。

### 2. 組織 (案)

(1) 名称：神戸食文化創生会議

(2) 設立目的

6 次産業化・農商工連携による神戸らしい食ビジネスの創出とともに、神戸のまち全体の「食文化の向上」につなげるために必要な交流事業等を行う

(3) 再編する既存組織

- ① 食都神戸推進会議 (平成 28 年 11 月発足 事務局：神戸市)
- ② 食の未来を考える会 (平成 30 年 6 月発足 事務局：神戸商工会議所)
- ③ みのりの祭典運営協議会 (昭和 47 年発足 事務局：神戸市)

(4) 想定役員

- ・兵庫六甲農業協同組合
- ・神戸市漁業協同組合
- ・食の未来を考える会より 2 名程度
- ・有識者 2 名程度
- ・その他 数名

(5) 会員

既存団体の構成員については「会員」として引き続き参加可能。

(6) 会員数

役員含め約 80 団体を想定

(7) 事務局

神戸市経済観光局農水産課・受託事業者

(8) 活動

① 交流・研修事業 (交流会・勉強会)

食に関するセミナーや生産地 (市内農村地域) への視察など 3 回/年程度

② 情報共有事業 (会員向けメルマガの発行)

会員対象に、会議内容の概要や施策情報、交流会・イベント案内を送付  
報告会議の開催 1 回/年程度

③ 広報事業 (みのりの祭典後継イベント、HP での紹介など)

みのりの祭典後継イベントの開催にかかる広報、

HP 等へ掲載する情報提供等

(9) 設立時期（予定）

令和3年5月下旬以降

### 3. 食都神戸推進会議の概要

#### 構成員一覧

団体	備考
神戸市	会長
兵庫六甲農業協同組合	副会長
神戸市漁業協同組合	副会長
弓削牧場（市内農業者）	
キャルファーム神戸（市内農業者）	
すまうら水産有限責任事業組合（市内漁業者）	
神戸大学	
（株）神戸新聞社	監事
（株）毎日放送	
（株）三井住友銀行	監事
（株）みなと銀行	
近畿農政局兵庫支局	
（一社）全日本食学会	

## 食都神戸 DAY 過去の実施概要

1. 目的 神戸の生産者や食事業者が市民とともに地域食文化の継承の価値を共有する
2. 経緯 「農地 FARM と食卓 FORK をつなげよう！」をコンセプトに、神戸の「農」や「食」を楽しむことができるイベントとして、平成 27 年度から東遊園地のファーマーズマーケットに合わせて年 1 回開催してきた。

### 3. 過去の実績

#### (1) 令和 2 年度 (第 6 回) 「FARM to FORK」

日時：10 月 30 日 (金曜) 17:00～20:00 前夜祭  
10 月 31 日 (土曜) 10:00～20:00  
11 月 1 日 (日曜) 10:00～15:00

場所：東遊園地

内容：URBANFARMING に関する映画等の上映会、ワークショップ (茅葺)、  
「まちを耕そう」をテーマにトークセッション・トークイベント  
 (「鍬とデジタルで耕す明日の神戸」他)、音楽ライブ

参加者数 (推定)：約 4,500 人

参考 URL：<http://eatlocalkobe.org/2020farmtofork/>

委託事業者：食都神戸運営共同事業体

#### (2) 令和元年度 (第 5 回) 「FARM to FORK」

日時：11 月 9 日 (土曜) 10:00～19:30  
11 月 10 日 (日曜) 11:00～15:00

場所：東遊園地

内容：地域と伝統食に関するトークセッション・トークイベント  
ワークショップ (茅葺・ヨガ)、食育映画の上映会、調理デモンストレーション  
ラトビア・リガ (姉妹都市) の伝統文化の紹介 など

参加者数 (推定)：約 2,400 人

参考 URL：<http://eatlocalkobe.org/farm-to-fork2019->

[11%e6%9c%888%e6%97%a5%e9%87%91-10%e6%97%a5%e6%97%a5/](http://eatlocalkobe.org/farm-to-fork2019-11%e6%9c%888%e6%97%a5%e9%87%91-10%e6%97%a5%e6%97%a5/)

委託事業者：有限会社 Lusie

#### (3) 平成 30 年度 (第 4 回) 「FARM to FORK」

日時：11 月 10 日 (土曜) 10:00～20:30  
11 月 11 日 (日曜) 10:00～16:00

場所：東遊園地

内容：食育研究者によるトーク、調理デモンストレーション、食育映画の上映など

参加者数 (推定)：約 2,400 人

参考 URL : <http://eatlocalkobe.org/ff18/>

委託事業者 : 一般社団法人 KOBE FARMERS MARKET

(4) 平成 29 年度 (第 3 回) 「FARM to FORK」

日時 : 10 月 21 日 (土曜) 10 : 00 ~ 20 : 00

10 月 22 日 (日曜) 10 : 00 ~ 15 : 00 (台風のため、中止)

場所 : 東遊園地

内容 : 和洋中をはじめとする市内シェフの「地場産食材」仕様の特別料理、ライブペインティング、農家も参加する音楽ライブ、茅葺ワークショップ

参加者数 (推定) : 不明 (台風のためカウントせず)

参考 URL : <http://eatlocalkobe.org/ff2017/>

委託事業者 : 一般社団法人 KOBE FARMERS MARKET

(5) 平成 28 年度 (第 2 回) 「FARM to FORK」

日時 : 11 月 5 日 (土曜) 10 : 00 ~ 16 : 00 (夜のピクニック 19 : 30 ~ 21 : 00)

場所 : 東遊園地

内容 : ワークショップ (茅葺、物語農園)、神戸のシェフ 4 名によるランチ、アメリカ・ポートランドからのゲストとのトークセッション、スローフードセミナー、音楽ライブ、映画上映 (夜)

参加者数 (推定) : 約 2,100 人

参考 URL : <http://eatlocalkobe.org/eat-local-kobe-farm-to-fork-2/>

主催 : 「食都神戸」食育推進協議会

(6) 平成 27 年度 (第 1 回)

日時 : 11 月 23 日 (祝) 11 : 00 ~ 15 : 30

内容 : スローフード協会、神戸のシェフ・農家によるトーク、市内シェフによるランチ

参加者数 (推定) : 約 1,000 人

参考 URL :

<http://eatlocalkobe.org/%e3%80%8c%e7%a5%9e%e6%88%b8%e9%a3%9f%e9%83%bday%e3%80%8d%e3%82%92%e9%96%8b%e5%82%ac%e3%81%97%e3%81%be%e3%81%99%e3%80%82/>

主催 : 神戸市

## 神戸いちじくフェア・須磨海苔フェア（神戸食材フェア）

### 過去の実施概要

神戸産農水産物の販路拡大と市民の認知度拡大のため、市内を中心に飲食店等が神戸産の「いちじく」「須磨海苔」等（令和2年度については、イチゴ、北神ネギを追加）を使用したオリジナルメニューを開発し、期間限定で販売・提供した。

#### 1. 神戸いちじくフェア

(1) 平成30年度 店舗数：38店舗

パン、スイーツ、和食、イタリアン、カフェ

(2) 令和元年度 店舗数：84店舗

パン、スイーツ、和食、イタリアン、カフェ、ホテル、和菓子、カレー、練物、おかき、うどん +シンガポールでのスイーツ

(3) 令和2年度 店舗数：46店舗

パン、スイーツ、和食、レストラン、カフェ、ホテル、和菓子、おかき

#### 2. 冬の食材フェア（H30、R1は須磨海苔のみ）

(1) 平成30年度 店舗数：21店舗

パン、料亭、レストラン、カフェ、居酒屋、うどん店、加工食品（チップス）

(2) 令和元年度 店舗数：15店舗

パン、スイーツ、料亭、レストラン、カフェ、加工食品（チップス）

(3) 令和2年度 店舗数：47店舗（須磨海苔、北神ネギ、神戸産イチゴ）

パン、スイーツ、料亭、レストラン、カフェ、居酒屋

## 瀬戸内経済文化圏 活動状況

### 1. 概要

かつて西日本の交易の中心となっていた瀬戸内に生まれつつある、新たな交流、とりわけアートプロジェクトやクリエイターの交流を顕在化し、一極集中型の放射状に広がるコミュニティではなく、環状に相互に連携するコミュニティという新たな境界のあり方を提示する。

地理的・商業的な共通点（山と海に挟まれた平地に都市が発展、海運を活かした重化学工業の発展など）を持つ瀬戸内の都市間で、それぞれの町での新たな取り組みを共有し、地域の活性化につなげていくとともに、環状のコミュニティでの交流を促進する。

○活動内容、メンバー等詳細について

瀬戸内経済文化圏ホームページ (<https://secr.jp/>)

### 2. 神戸市との連携状況

○「令和元年度 神戸市産官学金連携フォーラム」における共催

神戸市における PPP/PFI（※）事業の推進および民間事業者からの提案促進、産官学金のネットワーク構築等を目的として、神戸市と株式会社みなと銀行、NPO 法人 DANCE BOX、瀬戸内経済文化圏の共催により実施した。

※PPP/PFI とは、公共サービスに民間の資金や技術、ノウハウを取り入れ、行政と多様な構成主体との連携によりサービスを提供していく考え方。

瀬戸内国際芸術祭などのアートプロジェクトや、クリエイティブな取り組みが世界的にも認知、評価を受けている瀬戸内エリアでのアートや文化・芸術振興を通じた産官学金連携による地域再生の可能性と今後の展望、神戸の役割など、具体的な事例を交えて意見交換を行った。

開催日：令和元年9月11日（水曜）

（詳細は神戸市プレスリリース「令和元年度 神戸市産官学金連携フォーラムの開催」を参照）

○令和2年度 瀬戸内経済文化圏 FOOD SUMMIT

「瀬戸内経済文化圏」との共同事業として、各地のキーパーソンによる食をテーマにしたトークセッションを開催した。

※当日は新型コロナウイルス感染防止のため非公開。後日、瀬戸内経済文化圏 HP にてトークセッションのレポートを掲載 (<https://secr.jp/>)

開催日：令和2年11月22日（日曜）

場所：デザイン・クリエイティブセンター神戸（KIITO）